

モニタリングチェックシート（平成28年度）

施設名	大泉福祉作業所
指定管理者名	社会福祉法人 同愛会
評価者	障害者施策推進課長

<評価>

- 優：特記すべき実績・成果が認められるもの
- 良：管理運営が良好と認められるもの
- 要改善：一部において改善を要する点が見受けられるもの

評価項目および評価の視点	評価	評価理由・改善すべき点等
1 効率的運営・効率化への取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・事業計画書で提案されたとおり事業が実施されているか ・計画的な予算執行であるか ・管理業務費の経理、収納した金銭の取扱いおよび実費負担金等については、適正な処理および管理を行っているか ・利用者の利用状況は安定しているか 	良	<ul style="list-style-type: none"> ・基本協定や事業計画書に基づく事業運営がなされている。 ・計画的な予算執行、会計処理の帳簿整理などが行われている。 ・利用者の利用率は高く安定している。
2 施設管理運営体制 <ul style="list-style-type: none"> ・業務の再委託における範囲は適正か ・物品購入および再委託の際に、区内業者の活用に努めているか ・職員配置は協定を遵守しているか ・職員について区内雇用の促進を図っているか ・設備の保守点検、備品の管理は適切に行われているか ・緊急時のマニュアルを区と協議して整備し、緊急時には適切な措置を講じているか ・練馬区環境マネジメントシステムの趣旨を踏まえた業務を行っているか 	良	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の再委託における範囲は適正である。 ・物品購入などにおける区内業者の活用に努めている。 ・職員配置は協定を遵守し、適正な運営体制を整えている。 ・設備の保守点検、備品の管理は適切に行われている。 ・緊急時のマニュアルを整備し、必要な訓練などを実施している。 ・節電に努めるなど、練馬区環境マネジメントシステムの趣旨を踏まえた業務を行っている。
3 サービスの維持・向上に向けた取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・現在のサービス水準を維持し、向上に向けた取り組みを進めているか ・苦情処理の規程と体制を整備し、苦情があった際に適切かつ迅速に対応しているか ・地域との連携を図って事業を実施しているか ・計画的に職員研修を行うなど、職員の育成に努めているか 	優	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の「見える化」の第一弾として所内の環境整備に取り組み、利用者の作業スペースの拡大や作業の進捗状況の把握を行い、支援の充実を図った。 ・隣接する高齢者施設と相互に職員研修を実施した。また、秋祭りは近隣4施設の合同開催へと規模を拡大した。 ・地域生活支援センターと協働で大泉地域でのヘルプマークの啓発活動に取り組んだ。
4 法令遵守等 <ul style="list-style-type: none"> ・労働基準法、労働安全衛生法、育児・介護休業法等、労働環境に関する法令等を遵守しているか ・練馬区情報セキュリティポリシーおよび個人情報保護条例に準拠した規程を設け、必要な措置を講じているか ・情報公開条例等に準拠した規程を設け、必要な措置を講じているか 	良	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用に関する関係法令などの遵守について、適切に対応している。 ・練馬区情報セキュリティポリシーおよび個人情報保護条例に準拠した規程を整備し、研修や職員会議を通じて周知徹底に努めている。 ・情報公開条例に準拠した規程を整備し、必要な措置を講じている。
5 利用者評価等 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケートや第三者評価の結果は良好か ・運営協議会からの評価は良好か 	良	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケートの結果は良好である（79%が満足）。運営協議会からの評価も良好である。
総合評価	良	<ul style="list-style-type: none"> ・項目全般について、区が求める水準を満たしている。 ・環境整備による「見える化」の推進により、全体の把握と個別的な対応が可能となり、支援の充実に加え、業務の効率化につながった。 ・高齢者施設での職員研修を実施し、利用者の高齢化に対応できる職員の育成に努めている。 ・近隣施設との祭りの合同開催や、ヘルプマークの啓発活動により、地域との交流や地域への障害理解の促進に取り組んでいる。